

2025年11月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月15日

上場会社名 株式会社フィットワークス
コード番号 5037 URL <https://www.fit-works.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役（氏名）武内 寿明
問合せ先責任者（役職名） 取締役経営管理部長（氏名）山本 高広
中間発行者情報提出予定日 2025年8月29日 配当支払開始予定日 -
中間決算補足説明資料作成の有無： 無
中間決算説明会開催の有無： 無

上場取引所 東
TEL 06 (6889) 5777
-

（百万円未満切捨て）

1. 2025年11月期中間期の連結業績（2024年12月1日～2025年5月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年11月期中間期	1,766	54.9	131	129.5	131	124.8	85	221.1
2024年11月期中間期	1,140	-	57	-	58	-	26	-

（参考）包括利益 2025年11月期中間期 85 百万円 2024年11月期中間期 26 百万円

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期中間期	427.00	-
2024年11月期中間期	132.96	-

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2024年11月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年11月期中間期の対前年同中間期増減率については記載しておりません。

3. 当社は、2024年4月12日付で株式会社ミップの全株式を取得し、連結子会社といたしました。なお、みなし取得日を前中間連結会計期間末（2024年5月31日）としているため、前中間連結会計期間においては貸借対照表のみ連結しており、同社の業績は含まれておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年11月期中間期	2,179	1,111	51.0
2024年11月期	1,837	1,028	56.0

（参考）自己資本 2025年11月期中間期 1,111 百万円 2024年11月期 1,028 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	0.00	15.00	15.00
2025年11月期	0.00		
2025年11月期（予想）		15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年11月期の連結業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,633	12.2	202	3.3	205	△1.1	135	2.4	677.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- | |
|----------------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数 (中間期) |

2025年11月期中間期	200,000 株	2024年11月期	200,000 株
2025年11月期中間期	— 株	2024年11月期	— 株
2025年11月期中間期	200,000 株	2024年11月期中間期	200,000 株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
（1）当中間期の経営成績の概況	2
（2）当中間期の財政状態の概況	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
（1）中間連結貸借対照表	4
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
①中間連結損益計算書	6
②中間連結包括利益計算書	7
（3）中間連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）	8

1. 経営成績等の概況

当社は、2024年4月12日付で株式会社ミップの全株式を取得し、連結子会社といたしました。みなし取得日を前中間連結会計期間末（2024年5月31日）としているため、前中間連結会計期間においては貸借対照表のみ連結しており、同社の業績は含まれておりません。

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、底堅い成長を維持している一方で、トランプ関税の影響等を受け、米国をはじめ主要国向けの輸出が減少基調で推移するものとみております。また個人消費は、春闘結果が顕在化する夏場までは、実質所得が前年比マイナスで推移するため停滞が続き、その後は回復に向かうと予想されております。

日本の情報サービス業界は、生成AIをはじめとするテクノロジーの進展を背景に市場規模が拡大しております。グローバル及び国内におけるIT投資は活発で、特にクラウドやAI関連分野が成長を牽引しています。ユーザー企業による業務改革の進展に伴い、短期的にはコンサルティングやアプリケーション開発の需要が高まっています。一方で、中長期的にはAIの進化により、内製化の進行や労働集約型業務の代替が進むことがリスクとして指摘されています。

当社グループにおいては、従来からビジネスの基盤としておりますインフラ構築サービス及び仮想化ビジネスに引き続き注力してまいりました。ヘルスケア市場へのネットワーク・サーバ関連サービスの提供や弊社アプリ製品の販売も好調に推移しております。

顧客のDXに必要な不可欠な仮想化やクラウド環境を実現するシステムインフラ構築分野や、新たなサービスを展開するためのサービスシステム開発等の分野は引き続き活況を呈しております。それらへの対応として、より高度なベンダー資格取得の促進やコンサルティングなどの付加価値の高いサービスの提供にも注力してまいります。さらに、DXが進む中で、複数のクラウドサービスを組み合わせて最適な環境を実現するマルチクラウド化が浸透しつつあり、クラウドサービスを中心に安定した成長が続いております。このようなクラウド環境の構築経験によりクラウドセキュリティに対して豊富な経験や高度な技術力を蓄え、顧客の安全をサポートするあらゆるセキュリティソリューションを幅広く提供したいとも考えております。

引き続き企業等のセキュリティリスクを抑えるための重要な役割を果たし、今後も顧客のニーズに合致したより質の高い製品の提供を行うとともに、社会変化に柔軟に対応した新たなプロダクト製品の開発・販売を進め、事業の強化・拡大を図ってまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は1,766百万円（前年同期比54.9%増）、営業利益は131百万円（前年同期比129.5%増）、経常利益は131百万円（前年同期比124.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は85百万円（前年同期比221.1%増）となりました。

なお、当社グループはシステムインテグレーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を行っておりません。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産の部）

当中間連結会計期間末における流動資産は、1,851百万円（前連結会計年度末比359百万円増）となりました。これは主に、現金及び預金が406百万円、売掛金が221百万円増加したものの、商品が166百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、327百万円（前連結会計年度末比17百万円減）となりました。これは主に、のれんが17百万円減少したこと等によるものであります。その結果、総資産は2,179百万円となりました。

（負債の部）

当中間連結会計期間末における流動負債は、894百万円（前連結会計年度末比322百万円増）となりました。これは主に、前受金が173百万円、買掛金が92百万円及び1年内返済予定の長期借入金が40百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は、173百万円（前連結会計年度末比62百万円減）となりました。これは主に、長期借入金62百万円減少したこと等によるものであります。その結果、総負債は1,068百万円となりました。

（純資産の部）

当中間連結会計期間末における純資産は、1,111百万円（前連結会計年度末比82百万円増）となりました。主な内訳は、利益剰余金が82百万円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年1月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	436,715	843,569
売掛金	205,425	427,140
契約資産	92,227	28,449
完成工事未収入金	199,363	84,437
商品	310,784	144,461
原材料	1,392	1,789
未成工事支出金	28,543	4,705
前渡金	212,804	311,538
その他	5,101	5,513
流動資産合計	1,492,359	1,851,605
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	17,526	17,064
車両運搬具（純額）	3,131	5,177
工具、器具及び備品（純額）	10,551	9,107
建設仮勘定	4,235	-
有形固定資産合計	35,444	31,350
無形固定資産		
のれん	192,642	175,129
その他	2,398	4,685
無形固定資産合計	195,041	179,815
投資その他の資産		
保険積立金	75,523	75,647
繰延税金資産	7,121	9,886
その他	31,964	30,996
投資その他の資産合計	114,609	116,530
固定資産合計	345,094	327,695
資産合計	1,837,453	2,179,300
負債の部		
流動負債		
買掛金	79,612	171,735
工事未払金	16,571	13,805
1年内返済予定の長期借入金	45,996	85,996
未払法人税等	59,733	49,172
前受金	267,576	440,583
賞与引当金	9,312	25,613
その他	93,275	107,598
流動負債合計	572,077	894,504
固定負債		
長期借入金	229,340	166,342
資産除去債務	7,403	7,422
固定負債合計	236,743	173,764
負債合計	808,821	1,068,268

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (2025年 5 月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
利益剰余金	948,632	1,031,032
株主資本合計	1,028,632	1,111,032
純資産合計	1,028,632	1,111,032
負債純資産合計	1,837,453	2,179,300

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

① 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月 1 日 至 2024年 5 月31 日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月 1 日 至 2025年 5 月31 日)
売上高	1,140,705	1,766,874
売上原価	930,223	1,430,092
売上総利益	210,481	336,781
販売費及び一般管理費	153,111	205,117
営業利益	57,369	131,664
営業外収益		
受取利息	2	343
社宅家賃収入	874	916
経営指導料	200	-
その他	139	46
営業外収益合計	1,216	1,306
営業外費用		
支払利息	133	1,452
その他	-	113
営業外費用合計	133	1,565
経常利益	58,453	131,404
特別利益		
固定資産売却益	-	454
特別利益合計	-	454
税金等調整前中間純利益	58,453	131,859
法人税等	31,860	46,460
中間純利益	26,592	85,399
親会社株主に帰属する中間純利益	26,592	85,399

② 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月 1 日 至 2024年 5 月31 日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月 1 日 至 2025年 5 月31 日)
中間純利益	26,592	85,399
中間包括利益	26,592	85,399
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	26,592	85,399

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、税引前中間純損失となった場合等には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。